



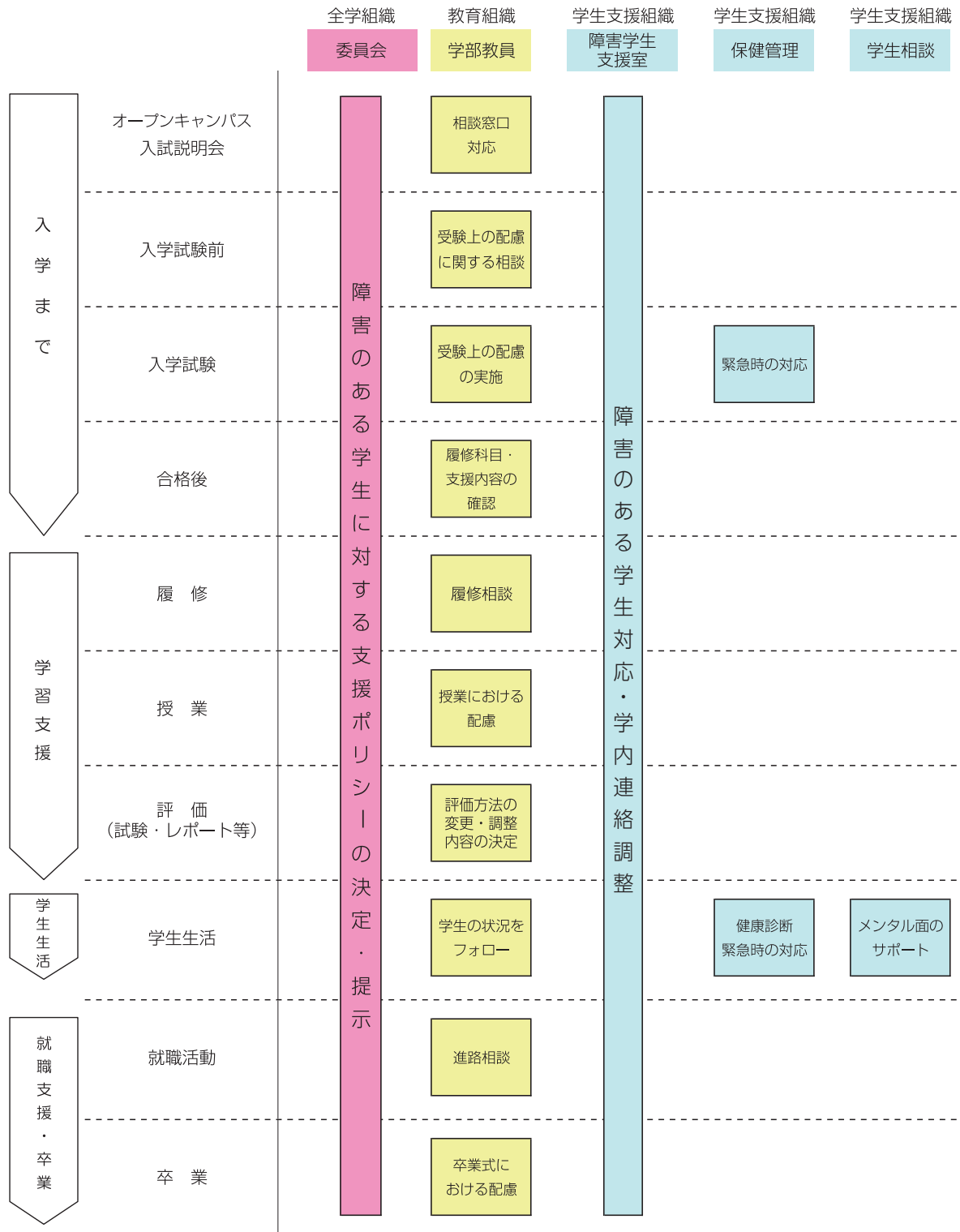
共通

1 学内支援体制

※次ページ「組織フローチャート」も合わせてご覧ください。

場 面		支 援 内 容
入学まで	オープンキャンパス／入試説明会	<input type="checkbox"/> 開催案内（ウェブサイト・チラシなど）や当日の資料を、障害のある学生にも使いやすいように整備する。
		<input type="checkbox"/> 障害のある学生のための相談窓口や、提供できる情報（受験上の配慮や入学後の支援内容など）を準備する。
		<input type="checkbox"/> 終了後は、得た情報を関係部署（入試・教員・支援組織など）と共有する。
	入学試験前	<input type="checkbox"/> 募集要項に、実施している受験上の配慮や、問い合わせ窓口を明記する。
		<input type="checkbox"/> 受験前相談があった場合は、関係部署（入試・教員・支援組織等）と情報共有を行ない、連携して話し合いを行なう。
	入学試験	<input type="checkbox"/> 受験上の配慮の実施にあたっては、関係する教職員（障害の状態や配慮の内容によっては警備担当者や保健管理センターなどにも）に情報を提供し、円滑な配慮の実施に努める。配慮内容は、大学入試センター試験における「受験上の配慮」（P. 262参照）も参考にしながら検討すると良い。
	合格後	<input type="checkbox"/> 合格した障害のある学生の情報を、速やかに関係部署（教員・支援組織・教務・学生等）に引き継ぐ。
		<input type="checkbox"/> 合格後の早い時期に障害のある学生と話し合い、財務や施設等の事務組織とも情報共有を行なって入学に備える。
<input type="checkbox"/> 必要な設備や構内動線は、利用する障害のある学生にも確認しながら整備する。		
学習支援	履 修	<input type="checkbox"/> シラバスや履修登録に関する資料を障害のある学生にも使いやすいように整備する。 <input type="checkbox"/> そのままでは履修が難しい科目については、関係部署（教務・関係教員・支援組織等）で連携して検討を行なう。
	授 業	<input type="checkbox"/> 配慮内容や支援内容について、関係部署（教員・支援組織・教務・学生等）で常に最新の情報を共有する。
	評 価	<input type="checkbox"/> 試験等の実施にあたっては、障害のある学生や関係部署（教務・教員・支援組織等）と適切な配慮について検討を行ない、実施する。
学生生活支援		<input type="checkbox"/> 障害のある学生が相談するためのわかりやすい窓口を設ける。窓口は一本化されているとなお良い。 <input type="checkbox"/> 障害のある学生との話し合いを定期的を実施し、状況の把握や支援内容の見直しを行なう。 <input type="checkbox"/> 窓口や支援内容について、機会があるごとに全学に周知して、学内の障害のある学生や教職員に伝わるように努める。 <input type="checkbox"/> 学内各部署に障害学生担当者を置き、必要な情報共有や連携を常に行なえるようにしておく。
就職支援		<input type="checkbox"/> 就職支援部署でも障害のある学生の状況を把握しておき、いつでも本人や企業に対応できるようにしておく。 <input type="checkbox"/> 障害者雇用率制度や外部支援機関等、障害者雇用に関する情報を収集しておき、学生からの相談に備える。 <input type="checkbox"/> 障害のある学生の就職活動に関する情報保障や配慮について、支援組織などと連携して支援を行なう。

2 組織フローチャート



事務組織	事務組織	事務組織	事務組織	事務組織	事務組織	事務組織	
入試	教務	学生	就職	施設	庶務・総務 広報	財務	
相談窓口設置					ウェブサイト等の 広報アクセシ ビリティ向上		オープンキャンパス 入試説明会
受験上の配慮 に関する相談							入学試験前
受験上の配慮 の実施							入学試験
	履修科目・ 支援内容の 確認	支援内容の 確認		関連施設・ 構内動線の 確認・改善	入学式に おける配慮	施設改善、 人的・物的 支援に係る 予算措置	合格後
	履修における 配慮						履 修
	授業における 配慮	授業における 配慮					授 業
	評価方法の変 更・調整内容 の確認、実施						評 価 (試験・レポート等)
		寮、下宿、 課外活動に 関する対応		利用施設の フォロー、 改善・修繕		継続的な 支出への対応	学生生活
			キャリア ガイダンス 就職相談				就職活動
					卒業式に おける配慮		卒 業

3 災害時の支援

障害のある学生には災害時に一層の困難が生じることを認識し、普段から本人と対策を話し合っておくことが大切です。また、日常の支援を通して地域の役場、近隣の大学等や関係機関との間で構築される連携が、災害時に大きな助けになると考えられます。各大学等の実状に合わせて、障害のある学生一人ひとりの特性に配慮した支援計画を立てておくことが重要です。

確認事項	
学内支援体制	<input type="checkbox"/> 障害のある学生本人からの申告に基づき、災害時に必要な支援を把握した上で、必要な範囲で関係の教職員等に周知しておく。
	<input type="checkbox"/> 避難方法と経路、及び被災場面に応じた支援方法を決めておく。
	<input type="checkbox"/> 緊急時の所在や安否情報、被災状況等を確認するための体制を構築し、関係者間で連絡手順を確認しておく。
	<input type="checkbox"/> 障害のある学生本人の同意のもと、保健管理センター等と医療情報を共有しておく。
情報取得・配信	<input type="checkbox"/> 大学等が、緊急の情報をリアルタイムで受信できるシステムを構築する。
	<input type="checkbox"/> 障害のある学生と大学等で、連絡手段となるツールを相談しておく。
	<input type="checkbox"/> インターネット等を活用して、学生への情報発信に努める。
設備・訓練等	<input type="checkbox"/> 避難時に必要な設備・機材を適切な場所に配置し、使用方法を周知した上でシミュレーションをしておく。
	<input type="checkbox"/> 障害のある学生の避難方法や経路を確認するための避難訓練を実施する。
	<input type="checkbox"/> 教職員や周囲の学生を対象とした理解啓発講座や、障害のある学生自身の防災・減災意識を高めるための防災教育を実施する。
	<input type="checkbox"/> 緊急時に、必要な支援の要望を周囲に適切に伝えることができるよう、本人の主体性を育てると共に具体的な方法を確認しておく。
連携先の確認	<input type="checkbox"/> 避難や支援等に関わる情報の入手先や、医療機関・支援機関等の連絡先を確認しておく。
	<input type="checkbox"/> 市区町村役場（防災担当課）
	<input type="checkbox"/> 災害時拠点病院
	<input type="checkbox"/> 周辺医療機関
	<input type="checkbox"/> 近隣の大学等
	<input type="checkbox"/> 支援団体

障害種別に応じた災害時の支援に関する詳細は、各章を参照してください。

障害種別	参照先
視覚障害	63ページ
聴覚障害	127ページ
肢体不自由	156ページ
病弱・虚弱	178ページ
発達障害	211ページ
精神障害	238ページ

4

障害学生修学支援ネットワーク事業

日本学生支援機構（JASSO）が事務局となり、障害のある学生への支援に積極的な取組を行なっている大学を「拠点校」、障害者施策に関する専門的な研究を行なっている機関を「協力機関」として、ネットワークを構築し、様々な事業を行なうことで障害のある学生の修学環境の整備を目指しています。

〈事業内容〉

【相談】

障害のある学生への支援に関する悩みを抱えている大学等の担当者の思いに応えるもので、大学等の教職員からの相談に対して「拠点校」が経験に基づいた相談対応を行なっています。

● 「拠点校」への相談方法

大学などにおいて初めて障害のある学生を受け入れる場合などの相談について、障害学生修学支援ネットワークの「拠点校」が受け付けます。

既に積極的な取組を行ない、経験・実績が豊富な「拠点校」に相談し、必要な情報を得ることは、より効率的な障害学生修学支援に繋がります。

各「拠点校」の情報をウェブサイトなどで確認し、相談先を決定してください。

「拠点校」に相談を申し込む方法は、下記URLに記載しています。

URL http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/shien_network/sodanjigyousoudanhouho.html

【理解啓発】

障害学生支援の取組の普及や質の向上を目的としたセミナー等を、全国の大学などを対象として、日本学生支援機構（JASSO）と拠点校が共催で開催しています。

【研究促進】

全国的な障害学生支援の質の向上を図るため、より先進的な調査研究を進め、その成果を全国の大学などに提供します。

〈拠点校と協力機関〉

平成27年3月現在

【拠点校】 9大学 ※各大学等からの相談受付可。

札幌学院大学	http://www.sgu.ac.jp/
宮城教育大学	http://shienshitu.miyakyo-u.ac.jp/
筑波大学	http://www.human.tsukuba.ac.jp/shien/
富山大学	http://www3.u-toyama.ac.jp/support/communication/index.html
日本福祉大学	http://www.n-fukushi.ac.jp/shiencenter/index.htm
同志社大学	http://challenged.doshisha.ac.jp/
関西学院大学	http://www.kwansei.ac.jp/university/university_003952.html
広島大学	http://www.achu.hiroshima-u.ac.jp/
福岡教育大学	http://www.fukuoka-edu.ac.jp/

【協力機関】 1大学2機関

筑波技術大学	http://www.tsukuba-tech.ac.jp
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	http://www.nise.go.jp/cms/
国立障害者リハビリテーションセンター	http://www.rehab.go.jp/

5

障害のある学生が在籍する大学等に対する財政支援について

障害のある学生を受け入れる大学等に対しての国からの財政支援は、国立大学法人及び国立高等専門学校に対する運営費交付金と私立学校に対する補助金の中で措置されています。公立学校については各自治体により対応方法等が異なります。障害学生支援を担当する部署においては、自校の財務担当部署と密に連携していくことが大切です。

1. 国立大学法人

国立大学法人運営費交付金（一般運営費交付金）において、障害者向け情報発信促進等経費として、各大学における障害者の受入れ方針や相談窓口、入学後の支援体制等に関する情報発信を促進し、障害者の受入れにあたっての入学前相談や学内外の連絡調整機能の充実を図るため、既に障害のある学生への支援を専門的に担当する部署を設置し、その部署に専属の教職員を配置している大学に対し、これらの充実に係る教員の配置に必要な経費を措置。当該経費については、概算要求の際の各大学に対する調査への回答に基づき、一定の条件を満たす大学に措置しています。

2. 国立高等専門学校

国立高等専門学校機構運営費交付金の一部として、国立高等専門学校機構に措置しています。

3. 私立学校

障害のある学生を受け入れる大学等を対象に、経常的経費に対する補助として日本私立学校振興・共済事業団が交付する私立大学等経常費補助金の一般補助において、次により算定される額を加算しています。〈平成25年度〉

$\{(障害のある学生の数 \times 1,600 \text{ 千円}) + (障害のある学生に対する具体的配慮の取組数 \times 400 \text{ 千円})\} \times 5 / 10 \times \text{増減率}$ （定員充足率等の状況により学部等ごとに131%～1%）

※予算額との兼合いから、算定結果に一律の圧縮率を乗じることがあります。

※参考：「私立大学等経常費補助金取扱要領・配分基準」（日本私立学校振興・共済事業団のウェブサイトhttp://www.shigaku.go.jp/s_haibunkijun.htm）

※問い合わせ先：日本私立学校振興・共済事業団助成部補助金課

TEL：03-3230-7300～7302、7306～7308

FAX：03-3230-8228

4. 公立学校

公立大学の場合、各自治体によって対応方法等が異なります。通常、年末に翌年度予算の取りまとめが始まります。